

2018年4月20日 建通新聞

「CIM 解決研究会勉強会を開催 工期短縮・コスト削減効果など紹介」

CIM解決研究会
勉強会を開催
工期短縮・コスト削減効果など紹介



CIM解決研究会(齊藤学一代表理事)は18日、建設現場のCIM導入の現状や、CIM活用による工期短縮・コスト削減効果などを紹介する第36回勉強会を都内で開いた。写真。

勉強会は、「全周型立体モニタリングシステムOMNIVIEWの紹介」をテーマとし、ソシオネクストの清水誠也氏が建設機械に、同社製品OMNIVIEWを搭載した時の導入事例や製品の特長などを紹介した。

また、会計検査院の三田啓氏は「会計検査院についての紹介」と題し、組織内の役割や今後の展望などを発表した。

その後、会員が各分会の進捗状況を報告した。他、齊藤代表理事が「現場の3次元化事例等」をテーマに講演した。

現場の「困った」をみんなで**解決** ICT活用に悩む中小建設業の**駆け込み寺**に!



毎月の勉強会では、
現場目線での事例を発表



勉強会後は懇親会で
参加者間の意見交換



i-Constructionに即したICT建機による施工トレーニング、
UAVを用いた3次元測量・解析トレーニングも実施



勉強会参加者の声

「今後UAVを導入する予定なので事例研究が大変役に立った」
「実践的な内容ですぐ社内に伝えたい」
「当社が今後取り組みたいことのヒントがここにあった」



一般社団法人 **CIM解決研究会**

〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1
ニューオータニガーデンコート1F 紀尾井フォーラム
E-mail : info@cimkaiketsu.jp
(翌営業日中には返信いたします)

お問い合わせ・
勉強会参加はこちらから

03-6410-8792

(平日9~18時)

「広告を見た」の
お電話で勉強会に
無料招待

CIM解決



ドローンUAV 3次元設計など

実技講習会を開催

CIM解決研究会

CIM解決研究会（齊藤学一代表理事）は24日、埼玉県内でドローンUAVを用いた3次元設計とその活用実践講習会を開いた。コンサルタント



などの関係者が参加し、土木測量分野で活用が広がるドローンの長所や今後の展望などを学び、実技講習を体験した。

あいさつに立った齊藤代表理事「写真」は「ドローンを活用した測量を学ぶことは、圧倒的な時間とコストの削減に直結する。撮影した画像の解析処理や、災害現場での測量技術などを習得してほしい」と述べた。実技

講習では、グランドステーションを使った撮影計画の作成、自動飛行撮影、撮影した写真のデータ解析などを参加者全員で行った。

同会では勉強会の参加者を募集している。

問い合わせ先は電話03(6410)8792。



株式会社

代表

〒100-0001 東京都千代田区千代田

〒100-0001 東京都千代田区千代田

1億6800万円、岩手県山田町271億3525万円などと続いている。

テクノシステム

約800人が来場

建設ICTソリューション展

テクノシステム（仙台市丹治宏夫代表取締役）は、最新の3D機器や測量システムなどを紹介する「建設ICTソリューション展2017 テクノシステムフェア」を4月26日と27日の2日間、仙台市の夢メッセみやぎで開催し2日間で約800人が来場した。

「新技術で広がる未来―i-Construction―」をテーマとした今

多くの来場者でにぎわう



回のフェアでは、建設ICTジャーナリストの家入龍太氏と日本建設機械施工協会東北支部長の高橋弘氏が基調講演を行ったほか、CIM解決研究会の福士幹雄氏と南雲建設の片野光男氏が特別セミナーを行った。

セミナーの様子



また、i-Construction関連システムなどを取り扱う10社がセミナーを開催したほか、22社が商品の展示ブースを開設。屋外ではUAV、MMS、測量機器の企画展示を行った。

西松建設の事例テーマに

CIM解決研究会が勉強会

CIM解決研究会（齊藤学一代表理事）は24日、都内で第14回勉強会を開き「写真」、西松建設の佐藤靖彦氏が同社のCIMやi-Constructionに関する取り組みを紹介した。

佐藤氏はブルドーザー

やダンプトラックなどの無人化施工、マシンガイダンスによる転圧・敷きならし・法面掘削の事例などを紹介し、技術者不足などを背景に生産性向上、省力化がさらに重要になることを説明した。勉強会ではこのほか、



建設システムの土屋義彦氏が「i-Construction対応の3次元設計データ作成と

面施工・面管理」と題し、データ交換フォーマット「LandXML」の要素や設計データ作成、設計照査について紹介した。同会ではCIM技術を活用して建設業界の課題を解決することを目的に毎月、勉強会を開いている。次回は7月22日に開催する予定。

問い合わせ先は電話03(6410)8792。

る。ただ、今回の発言は、特例的に長期にわたって経済活性化策の一環として政府が具体的な金融支援策の検討に入ったことを受けたもの。財政投融資などの制度を活用し、

19社

ユーレスプロ協会設立



初代会長に就任した日特建設の佐藤稔常務

ルト▽水抜き、パイプ新設▽法面清掃▽繊維補強モルタル吹き付けなどで効率的に再構築する更新工法。簡易な防護柵での施工が可能で、法面の耐久性を向上できるという。2014年にはNETISの設計比較対象技術に評価された。

を説明した。総会では、協会員や発注者・コンサルタントへ

OCF評議会 ベンダーの立場から i-Conへ対応



同評議会はことし4月、国土技術政策総合研究所が示した「Land XML1・2に準じた3次元設計データ交換標準案」と「同ガイドライン案」に対する市販CADの対応状況を調査し、公表している。

「近年、公共工事では新設より既存インフラの補修・補強に重きが置かれている」と述べた上で「道路法面の吹き付け施工面積も、ピーク時(1990年)の年間800万平方メートルから、200万平方メートルにまで減少している」とし、ストックの増加に伴う同工法の優位性

「企業」
営業を開始する。
・新住所 群馬県高崎市栄町1ノ1 ヤマダ電機本社ビル11階 電話027(330)5750
ファクス027(330)5760

CIM解決研究会が勉強会 大成建設の 取り組み紹介



CIM解決研究会(齊藤学 代表理事)は20日、都内で第13回勉強会を開き、大成建設のCIM導入に関する取り組みなどを紹介した。写真。

勉強会では、大成建設の北原剛氏が「施工CIM導入のヒント」をテーマに講演し、建設現場の生産性向上と品質向上を

現場の課題を解決することを旨として毎月、講演や意見交換を行っている。次回は6月24日の開催を予定している。問い合わせ先は電話03(6410)8792。

【総会】
▽日本国土調査測量協会 6月22日午後3時から総会。会場はホテルポール翘町(千代田区)。
【安全大会】
▽岡建工事・協力会 6月24日午後4時から労務安全大会。会場は同社(墨田区)

許可業種	代表者名	法/個	資本金(千円)
土・と・石・鋼・ほ・し・塗・園・水	吉田 慎	法人	10,000
とび	小島勝広	法人	500
鋼構造物	宮本 陽史	個人	
通信	鷹 太典	法人	1,000
造園	川内谷武樹	法人	3,000
とび	榎本 実	法人	8,000
内装	渡邊浩志	法人	50,000
土・と・石・鋼・ほ・し・水	相川幸治	法人	3,000
内装	葉袋 敷	法人	5,000
タイル	志村和則	法人	3,000
土・と・石・鋼・ほ・し・塗・水	濱本 弘義	法人	2,000
内装	中山佳子	法人	10,000
電気	篠崎達哉	法人	3,000
とび	島岡正孝	法人	5,000
大・左・と・石・屋・電・タ・鋼・筋・板・ガ・塗・防・内・絶・具	高橋俊秀	法人	40,000
建築	赤松信也	法人	5,000
大・左・と・石・屋・電・タ・鋼・筋・板・ガ・塗・防・内・絶・具	鮫島 昇	法人	10,000
塗装	西野 清	法人	2,000
電気・管	長谷川淳	法人	8,000
塗装	上代武司	法人	3,000
鉄筋	波平大語	法人	1,000

CIM解決研究会

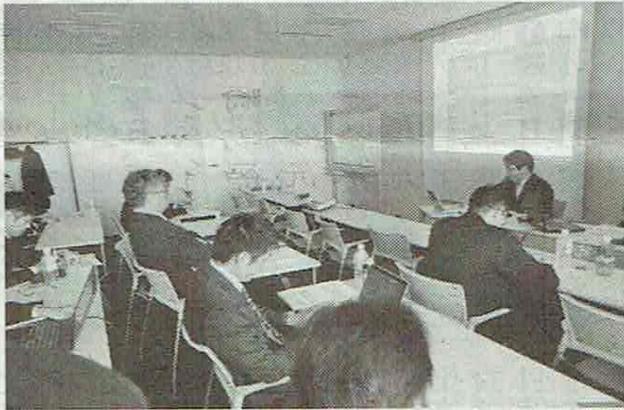
i-Conテーマに研修

CIM解決研究会（齊藤学一代表理事）は19日、都内で第12回勉強会を開き、国土交通省が推進するi-Constructionの取り組みなどをテーマに講演や情報交換を行った。写真。

冒頭のあいさつで緒方正剛参事は「i-Construction、CIMが一過性の取り組みや動向で終わらないように研究会としても盛り上

げていきたい」と述べ、活発な意見交換を求めた。

勉強会では、西尾レントオールの山口秀樹氏が無人航空機（UAV）・3Dスキャナーを活用した測量、ICT建機による施工など同社が提供するサービスを紹介したほか、建設技術研究所の鈴木泰之氏らが「建設コンサルタントのCIMの取り組みと課題」をテーマに講演した。



演した。

同会はCIM活用による建設現場の課題解決を目標として毎月、勉強会を開催している。次回は5月20日の予定。

問い合わせ先は
電話03(6410)8792。

3次元計測事例を紹介

CIIM解決研究会が勉強会

CIIM解決研究会（齊藤学一代表理事）は、都内で第11回勉強会を開き、移動式3次元計測システムMMS（モービルマッピングシステム）などの事例紹介や情報交換を行った。

勉強会では、アイサンテクノロジーの室山晋也氏がMMSを利用した3次元計測とマップデータ収集事例、川田テクノシステムの尾畑圭一氏が3次元CAD「Vinas

Clair（ヴィーナスクレア）」や道路平面・縦横断面CAD「VROAD」を紹介。また、事務局の福士幹雄氏



が建設現場の3次元化事例として施工ステップ図や「現場の見える化」について説明した。

齊藤代表理事「写真」

「今までコラボレーションしてこなかった人たちをマッチングさせて新しい活動を展開していきたい。現場の「困った」を解決するために一緒に勉強していければ」と話し、積極的な参加を呼び掛けた。

N I F インテリアデザインコンペ 6月24日まで受付

日本インテリアアファリアックス協会（吉川三会長）は、JAPANT EX2016の企画である「インテリアデザ

インコンペ2016」の募集を開始した。参加申し込みは6月24日まで。

募集テーマは、「Ne

w Stage, Reインテリアー進化するインテリアデコレーションの出会いと発見」。

同コンペは、感性と視点を生かしたインテリアの可能性を追求した作品を広く募集するもので、今回で13回目の開催とな

CIM〈活動紹介〉

たのしみ
楽CIMで現場の困ったを解決!

CIM解決研究会は、偶然にも2015年4月6日、まさにシムの日に「現場の困ったをCIMで解決できるように勉強、研究する会」として設立した。

■中小建設業の課題をクリア

設立者は、小さな建設会社と測量会社を並列で営み、情報化施工に代表されるように両方の技術をコラボすることで大きな可能性があると感じていた齊藤学一氏と、同じく零細企業経営者の山本泰造氏である。両氏は、3次元によるモデリングや見える化に大きな可能性を感じていたものの、中小企業にとつて3次元のソフト二つが高価なことや、そもそもどのソフトが自社に適しているのか比べようがないこと、また、一度導入してしまうとそのソフトに固執・依存しなければならなくなるのが課題と感じていた。

■BIM／CIMを

利用する側の声を共有

さらに、CIM化・3次元化に対し非常に高いハードルがあると同時に、多くの会社で、建設CAD、電子納品、ISOなどいろいろ求められ続けてきていて、

「今度はBIM／CIMか？」という、拒絶反応に近い感情を持つ経営者も少なくない。ルールを作る側ではなく、末端で使う側の声を共有する組織があっても良いのではないかとということが設立の発端である。

■CIMの著名者を

講師に毎月、勉強会を開催

この設立動機に賛同した元建設省大臣官房審議官の天本俊正氏や緒方正剛氏を参事として迎え入れ、2015年5月30日を皮切りに、毎月欠かさず勉強会を開催している。3月の第11回勉強会は、川田テクノシステム尾畑講師、アイサンテクノロジ室山講師が登壇した。2月は、「見える化によるCIMのススメ」オートデスク井上講師、「バーチャルCIMワールドの構築」フォーラムエイト宮本講師、「衛星画像のご紹介」日本スペースイメージング池田講師、「現場の事例集」事務局福士・齊藤という内容で行った。過去には、大林組杉浦講師、福井コンピュータ・浅田講師、このほかダッソーシステムズ、CTC、前田建設工業、パシフィックコンサルタンツ等々CIMの中心にいる

方々の講義を開いている。

■現場監督の時短・効率化、CIMを「楽CIM」へ

現場管理の性質上どうしても拘束時間が長くなりがちな現場監督の時短につなげ、CIMや見える化、新しい技術による業務の効率化、職員の仕事に対する満足度達成感を持ち上げ、「仕事を苦しむ」からCIMを「楽CIM」(たのしみ)へ変えていき、かつてそうであったように若者に魅力のある職種にすることを目指している。

■業種の垣根を越えた組織へ

会員募集中

会員としては、ゼネコン・建コン、測量業・建築業・土木業・機械レンタルソフトメーカー・ペンダー等すべての業種の企業や、業種にかかわらず興味を持ってもらった全ての個人も参加が可能。さらに、労働生産性で倍以上の効率を上げている製造業がIoT、ビックデータ、M2Mとさらなる効率を上げつつあることを踏まえ、東芝を定年後に北海道旭川高専、苫小牧高専の教授を歴任した土田氏を参事に迎え入れ、通信・センサー・ロボット・点群処理等の分科



CIM Solution Workshop
一般社団法人 CIM解決研究会

東京都千代田区永田町2-17-17 アイオス永田町257
TEL.03-6410-8792
URL : http://cimkaiketsu.jp E-mail : info@cimkaiketsu.jp



会を立上げ研究し、最終的にはエネルギー・環境・IT農業・センサーによる福祉等すべての産業の垣根を取り払い、あくまでも現場で汗する人々のハブになればと考える組織である。

復興計画の 作成事例紹介

CIM解決研究会

CIM解決研究会（齊藤学 代表理事）は23日、都内で第10回勉強会を開き、CIM支援ソフトを活用した震災復興計



たたえた。
マークの交付を受けて森ビル（港区）の森浩生取締役副社長執行役員は「関係者の努力が実り、こうした認定を当社として初めて受けること

ができた。日頃の精進が評価されたことをうれしく思う。これを機会に、新虎通り周辺をさらに安全で魅力あるエリアにしていきたい」と述べた。

スクの井上修氏が「Autodesk InfraWorks」を活用した岩手県大槌町の復興計画、渋谷駅周辺再開発事業を紹介。また、フォーラムエイトの宮本卓也氏が「UCIwin/Read」によるバーチャルリアリティ・シミュレーション、日本スペースイメーシングの池田林房氏が高解像度衛星画像データ利用について説明した。

画や道路計画の作成事例などを紹介した写真。

勉強会では、オートデ

同会は中小建設業へのCIM技術の導入促進を目指して毎月、勉強会を開いている。次回は3月25日を予定。

問い合わせ先は電話03(6410)8792。

導入事例学ぶ

CIM解決研究会が勉強会



CIM解決研究会(齊藤学一代表理事)は、都内で「第8回勉強会」を開き、会員約40人がCIM(コンストラクション・インフォメーション・モデリング)の導入事例などについて学んだ。写真。

あいつで緒方正副参事(先端建設技術センター)は、国土交通省が2015年11月に発表した「i-Construction」について「将来的に技能労働者の生産性を5割向上させるなど『生産性向上』がポイントとなっている」と紹介した。

勉強会では、ダットソー・システムズと伊藤忠テクノソリューションズの担当者がCIMの導入事例を交えながら各社の製品を紹介した。同会はCIM技術を活用して建設業界の課題を解決することを目標に15年4月に設立。中小建設

業へのCIM導入促進などを進めている。次回の勉強会は1月28日を予定
問い合わせ先は電話03(6410)8792。

初の実態調査で報告書

年間市場規模、推計1.2兆円

建機レンタル協会

日本建設機械レンタル協会(角口賀敏会長)は、全国の会員企業の売上高や機材の保有状況などをまとめた「2015年度建設機械レンタル業実態調査」の報告書を公表した。業界の市場規模や保有機材を把握するための初の実態調査で、業界の地位向上に向けた基礎資料として活用していきたいとしている。

報告書によると、会員企業の売上高の合計は約2兆9200億円だった。この数字には建設機械の製造や販売、保守、その他の事業も含まれているため、レンタル部門の割合を算出すると推計で42・3%となり、建設機械レンタル業界の年間市場規模は約1兆2400億円と推計される。調査は、15年6～8月に正会員企業784社を対象にアンケート調査を実施し、247社から回答を得た。回収率は31・5%。また、信用調査会社による売上高などの情報を入力し、報告書をまとめた。売上高の分布は「5億～10億円」が16・1%

2015年7月21日 建通新聞
 CIM 解決研究会 「国際標準の動向を学ぶ」

国際標準の
 動向を学ぶ

CIM 解決研究会

CIM 解決研究会（齊藤学一代表理事）は16日、都内で第3回勉強会を開き、会員など約40人がCIM（コンストラクション・インフォメーション・モデリング）の国際標準

準に関する動向などを学んだ。写真。

勉強会では、IAI日本の江端陽二氏が「CIMに関する標準化の国際動向」について講義し、IFCフォーマットを国際標準にしようとする動きやIAI日本の役割、世界各国のCIM導入事例などを紹介した。また、3D・GEOKOSMOSの岩部吉成氏が「点群

編集処理の現実」、齊藤をテーマに講義した。代表理事が「楽CIMで現場の『困った』を解決」活用して建設業界の課題を解決するため、こ



とし4月に設立した。中小建設業へのCIM導入などを進めており、8月21日には第4回勉強会を予定している。問い合わせ先は電話03（6273）3272。